

一関・平泉地方

◆地域の情報や話題を
お寄せください

本社編集局 0191(26)4204
千厩支局 0191(53)2233
平泉支局 0191(46)5104

ナースィングホームケアリー岩手一関の1周年記念パーティーで、入居者に歌やダンスを披露する職員ら



「家庭的」大切に1周年

ナースィングホーム
ケアリー岩手一関 記念パーティー

一関市中里字舟場の住宅型有料老人ホーム「ナースィングホームケアリー岩手一関」(佐藤貴宏施設長)は10日、1周年記念パーティーを同施設で開き、関係者

が余興やバイキングなどを
楽しんで節目を祝った。
同施設の入居者や家族、
職員ら約60人が参加。ケア
リーの船見友美代表取締役
は「オープンから1年。働

ミニバス平泉カップ

男女とも宮城勢制す

第4回平泉カップ(平泉
ミニバスケットボールスポ
ーツ少年団主催)は7、8

の両日、一関市狐禅寺の一
関ヒロセユードームで開か
れた。小学生男女の計20チ
ームが試合に臨み、男子は
志津川バスケットボールス
ポ少(宮城県)、女子はお
きのミニバススポ少(同)

が優勝した。
同カップは参加チーム同
士の交流機会をつくること
や、選手の競技力の向上な
どを目的とし、2022年
から毎年熱戦が繰り広げら
れている。

今回は青森、岩手、秋田、
宮城のチームが参戦し、リ

いている皆さん、入居され
ている皆さんとご家族のお
かけできょうを迎えられ
た」、ケアリー東北の藤村
典久取締役は「ケアリーは
家庭的な感じをモットーと
している。これからも意見
を頂き、より良い施設にし
ていきたい」とあいさつ。
船見代表取締役は同施設
とグループ施設に常駐して

いるセラピー犬合わせて6
匹を紹介し、入居者全員に
1周年記念品を贈った。
余興では、山梨県のグル
ープ施設の介護職員らによ
る音楽ユニット「LOVE
RS CARE」がオリジ
ナル曲「ケアリー音頭」な
ど3曲を演奏したのを皮切
りに滋賀、岐阜、岩手各県
のグループ施設の職員がタ

ンスなどを披露した。カレ
ーライスや豚汁、ケーキの
バイキングも行われた。
ケアリーは岐阜県を中心
に住宅型有料老人ホームを
展開しており、ケアリー岩
手一関は2024年6月10
日に開所。末期がんなどで
医療依存度の高い人を優先
的に受け入れており、現在
は31人が入居している。

優勝を除く上位結果は次
の通り。
▽男子②平泉ミニバス
スポ③石巻ブラックブルズ
▽女子②十和田南ミニバ
ススポ③一関南ミニバス
スポ少

平泉町の平泉世界遺産方
イダンスセンターは、14、
15の両日に初めての体験学
習「アンブレラスカイ」を
同センターで開く。透明な
傘に浄土や平和、幸せのイ
メージを自由に描き込んで
館内に展示し、「平泉の文
化遺産」に込められた浄土
思想などに理解を深める。
事前に申し込みが必要で、
幅広い年代から参加者を募
集している。

初のアンブレラ
スカイ参加募る
ガイダンス
センター・平泉
喜桜会
連合大会
謡と仕舞
成果披露



ドリブルでゴール下に向かう選手ら

共同取り組み検討継続

私立高懇話会が確認

一関市と一関学院高校、
一関修紅高校が少子化が進
む中で望ましい教育環境を
考えるために設置した「市
内私立高校の教育を考える
懇話会」の2025年度第
1回会合は10日、市役所で
開かれた。関係者が昨年度
の取り組みを振り返り、今
年度も両校による意見交換
や共同での取り組みの検討
を継続していくことを確認
した。

会合には会長の石川隆明
副市長、副会長の両校校長
ら関係者10人が出席した。
石川副市長は「少子高齢
化の中で私立高校は特徴あ
る教育に取り組んでいる。
当市にある私立高校2校は

無くてはならない教育機
関。懇話会のテーマをしっ
かりと押さえた上で意見交
換していきたい」とあいさ
つ。
一関学院の藤田一彦校長
は「今年度も2校で共同実
施できるものについて検討
し、推進していきたい。私
学の良さを前面に出しなが
ら魅力を発信していきたい。
未来の私立高校につい
て話し合うことは有意義で
必要」、一関修紅の中島元
子校長は「今年度は昨年度
に計画した共同の取り組み
についてより具体的に意見
交換していきたい。特に入
試問題作成は市内外多数の
生徒に関わる取り組みなの

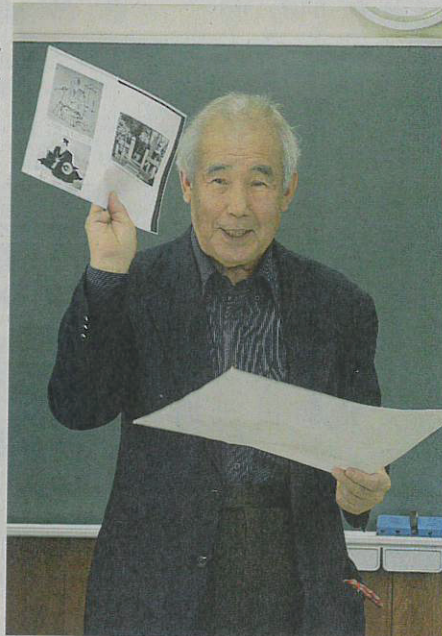
◆藤沢町グラウンドゴル
フ協会さなぶり交流大会結
果(5日、花巻市・金矢温
泉ホテル銀河パークはなま
きグラウンド、24ホール、
敬称略)
①遠藤昭55打②畠山正司
56打③及川雅行59打④小野
寺則雄62打⑤千葉内作64打
※ホールインワンは遠藤
昭、畠山正司(以上2回)
及川雅行、佐藤辰雄、三浦
文康、菅原文男、細川美喜

平山さん功績たたえ

県和算研究会 研修会で調査内容紹介

県和算研究会(菅原通会
長)の2025年度総会と
研修会は8日、一関市花泉
町の老松市民センターで開
かれた。総会で同町出身で
江戸時代の和算家・千葉胤
秀(1775-1849年)
の生誕250年記念事業へ
の参加などを決定。研修会
では菅原会長が岩手の和算
研究に大きな足跡を残した

岩手の和算研究に大きな足跡を残した平山諦さん
の功績を語る菅原会長



平山諦さんに関する講演を
行った。
県内や宮城県から会員を
中心に11人が参加。研修会
では菅原神社(同市舞川)
や宮城、秋田両県に残る算
額問題の解法などについて
研究成果を発表した。
「平山諦先生による岩手
県の和算研究」と題した講
演で菅原会長は、千葉胤出
身で東北大講師や教授とし
て長年和算研究を続けた平
山さんが同市を訪れて調査
した内容を紹介。「平山先
生の偉大さは和算史や関孝
和を中心とした和算の数学

的解説にあり、先生の活躍
がなければ岩手県の和算研
究は進まなかった」と功績
をたたえた。
総会では、今年度事業で
市博物館と共催の和算研究
講座や、和算に挑戦などに
取り組むほか、千葉胤秀生
誕250年記念事業として
同博物館が9月から開催す
る特別展や講演会、和算シ
ンポジウムへの参加を計
画。菅原会長はあいさつで
「今後も数多くの和算を解
き明らかにすることで、教
育に貢献していきたい」と
語った。